

ひょうご

職親会だより

1999. 1 第4号

拡がりと充実を願って

兵庫県精神保健職親会
会 長 森 本 稔
(森本鐵工株式会社)

ごあいさつ

新年おめでとうございます。

挨拶をかねて近況を報告したいと思います。

経済復興が叫ばれただけの98年から99年に移りました。今年こそと国民全体が願っている景気は如何になりますやら、報道に踊る、何兆円、何億円とは、実感なく、又底打ちも何回も訂正されます。凡人には益々分からない世相です。でも、生きのびていかねばなりません。

私達職親も青息吐息、借金を重ねて、年を越しました。

障害者の社会復帰の手伝いを、共に生きる社会をと、ささやかな活動を続けている本会もキビシイ状況下、皆様の御理解、御協力で会設立后、2回目の正月を迎えました。

本年もどんな年であれ、皆様の御協力をいただき乍ら、一步一步進めていきたいと役員一同頑張ろうと話しております。

初ず、本会の主旨であります、職親のネットワーク作りですが実質的作業に取り組んでいく年と考えております。

昨年、数箇所の保健所管内の家族会に御邪魔しまして、出席されておられる職親さんとお話する事が出来ました。行く先々ですばらしい職親さんにお会い出来ました。今後、会の中心的役割をお願いするに相応しい方々です。そこで提案ですが、職親の増加努力と相俟って、各保健所毎にリー

ダーを、お願いし、地域での連絡をとり合っていただけたら。又、地域にあった研修、異業種間の、交流を含めたものが出来るのではないかと考える譯ですが、私の独りよがりでしょうか。期待したいと思います。

次に近況報告ですが10年11月13日14日の2日間、豊岡保健所職親交流会との合同研修会を城崎で実施、豊岡保健所の皆さんに大変御世話になりました。紙面を借りて厚く御礼申し上げます。公立豊岡病院の波床将材先生、豊岡職安の就職促進指導官、山根浩美様、当精神保健職親会の西村稜威雄副会長に貴重なお話をいただきました。

今回の研修会で、特に感じたことは、豊岡保健所が中心に職親交流会が平成6年から結成され、研修会も定期的にもたれ、又関係機関（ハローワーク、他）とも交流が持たれているようで積極的な障害者支援が行われている事に、大いに感銘し、喜ばしい気持ちにさえなりました。

地域でのネットワークのすばらしさを教えられた研修会でもあり、前段提案しました、各保健所毎にリーダーをと云う事の発想も豊岡で、意を強くした次第です。

この1年、皆様方に於かれましては、希望に輝く年であります事を祈念し、御挨拶とします。

○

大根炊き 大杓にとり 次々に

葉ボタンの 色決めかねて はかどらず
しきたりに 愚痴多きこと 年用意

森 本 稔
合 掌

それぞれの回復 ～精神障害からの回復とそのイメージ～

公立豊岡病院 医師 波 床 将 材



はじめに、障害からの回復ということを考える場合、医学レベルの問題というよりも、生活する人として生活をどう取り戻すかということになると思います。精神疾患の回復過程では、一般に働くことは重視されていると思います。普通、病気をすると休む権利があるのですが、精神疾患の場合には、休む権利というよりも、仕事に当てにされないということになってしまいがちです。そして一方で、働くことが治ることみたいな意味で見られがちのように思います。

さて、精神分裂病の病状は、急性期の症状として、幻覚や妄想、思考の障害、感情の障害などがあるわけですが、その発病は険しい山にどんどん登って行って、どこか幻の山の上でボンと放り出されたようなことになります。そこから治っていく過程は山を下りていく過程です。下りるということは結構難しい。そこをどういうふうの下りてもらうかが治療と回復の技術であろうと思います。この急性期の症状は薬がよく効きますから、しばらくして落ち着きますと、慢性の症状が残ります。意欲がなくなったり、生き生きとした気持ちが出てこない、それから対人関係の障害、人との付き合いがうまくいかないというふうなことです。このような慢性期の症状は薬があまり効きません。ここでどうしていくかというのがリハビリテーションであり、これは狭い意味の治療・医療から、少し離れた部分ということになります。また、これに加えて精神病には、社会的な偏見の問題もあり、患者さん自身も自らの病気に偏見を持っていると言えるでしょう。

以上のことを考えながら、治療について、もう少し詳しく話しますと、薬物療法、精神療法は大切ではありますが、生活する環境がいかに再発に影響するかという問題があります。分裂病は人口の1%くらいの割合で発病すると言われますから、発病についてはある程度仕方ないと言えますが、その後うまく治療がすすむかどうか、あるいは病気を抱えながらも落ち着いて生活できるかどうかは、環境が影響する。長期の経過を追っていくと、薬の問題と、生活環境をどのように整えるか、ここがリハビリテーションの役割と思いますが、この二つが、かなり再発予防や再発率に影響するということです。

薬物療法では、特に慢性期、リハビリテーションをしているときには、できるだけ生活に支障がないような、再発をうまく防げるような薬を選ぶことが大事なことです。精神療法は、色々な問題や悩み事を相談することですが、医者に相談する方がよいこともあれば、ケースワーカーさんに相談しないといけないこともあり、これをうまく割り振るのも医者の仕事だろうと思います。院内リハビリテーションとしては、レクリエーション、作業療法、SST（生活技能訓練）などがあり、地域リハビリテーションとしては、職業リハビリテーション、デイケアや作業所、授産施設、居住施設など、それから地域精神保健活動として、病気のことを街の皆さんに理解していただくというのは大事なことです。このほかに、患者会や、家族会、ピアカウンセリングなどがありますが、このような活動はこれから大切なものになってくると思います。

次に、精神障害のリハビリテーションの対象となる障害はどのようなものか考えてみましょう。一般に分裂病の患者さんは、周囲からの刺激に敏感で、疲れやすく、自己主張がうまくできない人が多いです。その分、ストレスがたまって、感情の爆発のようなかたちで発散してしまいやすい。また病気や入院のため、集団での体験が少ないことが、ハンディキャップになっています。WHOがまとめた障害の3つの側面として、機能障害、能力障害、社会的不利というのがありますが、機能障害というのは、病気の症状によって考えがまとまりにくい、融通のきかないなど、能力障害は、病気がもとになって出てくる人付き合いのまずさや、ストレスがコントロールしにくいこと、社会的不利は、病気に対する偏見から、あるいは法律上の問題として、生活上制限を受けるということです。

このような障害をどう支えるか、どのようにリハビリテーションをすすめるかといいますと、健康な部分をのばしていくということです。病気である部分は病気として、あとのそれなりに健康に保たれている部分

をどう評価してあげるか、何ができるのかをみていくことです。それから、リハビリテーションの中で「働くこと」を考えますと、よい休息のための労働ということになります。労働の意義とは、お金を得ることで欲望が満たされること、お金を使うことで欲しいものが買えること、それから、お金があるということは安全保障ですね。それに仕事に就いていることは社会の安全通行証、パスポートですね。それから非常に大事なことに、働くこと自体に自尊心を高める働きがあります。そして、身体的にも働くことは気持ちがいいし、職場で人とコミュニケーションできることも大事です。また、働くことは生活の中での一種のメリハリですし、対人関係の基盤ができます。そういう意味で働くことにはたいへん色々な意義がありますが、患者さんが働き始めるときには、働いたら休む、休息を取る、働くことで気持ちよく休めるようになってくるということをどう扱ってあげるかが大きな問題になるだろうと思います。言わば、よい休息のための労働、つまりうまく休むために働く、そういうふうなことを考えるのが職業リハビリテーションの第一歩だろうと考えられています。そういう中で、能力の限界とか、何時間ぐらい働けるかとかを、患者さんが自分自身で分かっていくことと、また援助する側も知っていくことが重要です。でないと、本人ができる以上のことをこちらが期待して、本人も期待に応えようとして頑張ってしまうということになりがちです。

次にノーマライゼーションという考え方があります。これは、障害者が社会でどのような状況でも、普通の人の同じように当たり前の生活が保障されるべきであるという考え方です。まずは偏見の除去、そして自立生活の保障です。ここでは、援助、介助を受けることでさらに生活の質を高めて、生活の広がりを持たせることも自立と考えます。

障害をどのように支えるかというとき、このリハビリテーションとノーマライゼーションという二つの対になる考え方がもとになります。また、医・職・住とか、あるいは遊・職・住という言葉があります。遊はゆったりできる所で、職は何かあてにされること、住は気遣いなく生活できる所。この三つが非常に大事な要素で、そういう中で、自分のペースを見だし、失った自信を回復し、初めて生きていく目標が見つかるのではないかと思います。これが、リハビリテーションの基本的な考え方だということになります。精神障害のリハビリテーションでは働くことは重要なことですが、患者さんは働くために働くというふうなことになります。そんなことがないように、つまり、少しあてにされて、少しゆとりを作るということが目標で働くべきなんです。患者さんにも働く病気が治ったんだと考える方も多いですが、そうではなく、病気はあるけど働いている、病院に行きながらリハビリテーションとして職業を考えていくこと。働いているから治っている訳ではなく、逆に病気だから働けないという訳でもない。確かに、気働きみたいなことを要求される職業は難しい方が多いですが、実際の職業リハビリテーションでは、その辺をどう配慮するかが大きな問題です。そして、働くことと休むことはワンセットだということ。休めない働けないんだということを、もう一度強調しておきたいと思います。

リハビリテーションと働くことを中心に話してきましたが、回復というのは、初めに言いましたように、医療・治療というレベルだけの問題として取り上げるのではなく、生活そのものをどういうふうに取り戻すかということです。また、回復は、単にもとに戻ることはないと思います。もとに戻るということは、病気になる前の危ない状態に戻ることで、その人にとっては無理なやり方をして病気になったと考えるべきですから、回復するときは、もとに戻るのではなく、同じ失敗を繰り返さないように一度考え直してみることが非常に大切です。また、健康の医学的管理ではなく、自ら健康を守るようにすることも一つの目標です。それから、援助する側は障害者が当たり前に暮らせるまで伴走者としてはたらくことが大事で、引っ張っていく役割になると失敗しがちです。関わる人が焦らず、助け合うという関係ができること自体が回復の一番最初のところでしょう。

最後に、こういう仕事をしていて何が一番よいかといいますと、関わっている方が良くなっていく、或いは変わっていくというのはすごい励みになります。それが、ある種私たちの精神的な健康の支えになっている、支えながらやはり支えられてもいるのだと言うか、そういうことを頭に入れておいていただいて、以上が、私から見た一つの回復のイメージです。今日のタイトル“それぞれの”というのは、患者さん個々の、という意味もありますけれども、関わっている方個々の回復に対する考え方という意味も込めて、このようなタイトルにしました。

就労支援の実際

豊岡公共職業安定所就職促進指導官

山根 浩 美

精神障害者が就労する際には様々な障害がある。雇い主側からの問題としては、病気・障害に対する偏見があり、障害者というだけで全てをひとくくりにし、機能低下がみられる部分とそうでない部分を一緒にしてしまう。その結果、障害者は危険である、安全管理ができない等と決めつけてしまう場合がある。職安から紹介依頼する時は、障害を正しく理解してもらうことに努力し、電話だけではなく、直接会うことに努めている。そして本人に会ってもらうことにしている。案外、うまくいくこともある。

求職者側では、高学歴であったり元気に働いていたことがある人、会話がスムーズに行える人などは発病後は、職業能力が低下していて本人が思う程仕事ができないにもかかわらず、以前の様な職種を希望するため、仕事の内容や賃金等の条件が本人や家族の希望と折り合いにくく、そのずれをどういうふうにかバーしていくかといった問題がある。

職安の対応としては精神障害をもっている求職者が来ると、まず発病から今までの経過を聞き、就労が可能かを判断する。判断の基準は雇用保険の一般被保険者（30時間以上／週）になりうるかで、これに関しては主治医の意見書で判断し、それにあたらない人に関しては治療、通リハ等で医療機関にかかわってもらう。就労後は医療に関しては主治医、保健所、精神保健機関で支援してもらい、職安でも本人及び雇い主の悩みなどの相談を受け、雇い主だけで問題を抱え込んでしまわないように支援して行っている。

障害者の就労支援制度については、職場適応訓練制度がある。また特定求職者雇用開発助成金の制度もある。なお、後者の制度は平成10年の4月より精神分裂病、躁鬱病、てんかん以外の精神病に対しても、保健福祉手帳所持者であれば適用の対象となることになった。

事例紹介

1. A君（20代、精神分裂病）

本人、職安、保健所、主治医、本人の学校と連携の上、勤め先を探し、結果的には通リハで訓練開始した例。

2. B君（20代、非定形精神病）

本人の状態を周りから怠けているようにみられ、本人・家族と就労状態のギャップで、現在も調整に苦労している例。

3. C君（20代、てんかん）

家族関係に問題があるように思える例。

例え、通常の人の中半しか仕事ができなくても、毎日継続できれば雇い主として仕事は期待できる。大事なことは続けていくことである。

常に病気を正しく理解し、本人を見守る人が必要だと思う。

職親になってよかったこと、 困っていること

精神保健職親会

副会長 西村 稜威雄

（西村商店）

暗雲を吹き飛ばすような佳き年でありますことをお祈り申し上げます。

今回は城崎温泉大会議館での研修会となりました。

私はいつもの主張ながら、職親技術の研修会を、と願っております。

障害者にとって「通リハ適用」とは仕事への参加と共に「完全就職」と理解されているようです。その思いは殊の他大切にしたいと思っています。要するに仕事に希望を持ってもらう事が大事だと思うからです。

対話は、障害者に次元を合わせる事から始めるのがコツのようです。先ずは障害者の言葉を全て肯定してかかります。その事が雇用者との間の信頼と敬服を一層深めていると思えるからです。

作業は障害者同士の先輩が有れば、先輩に教えてもらい、出来るだけ全てを指導してもらうのがベターのように思えます。先輩の体験を通しての技術指導は、私達の及ぶ処ではありません。何げない会話のような中で、作業技術は確実に受け継がれています。

誰でも仕事の失敗はつきものです。障害者に対する失敗の指摘と指導は、職親の最も気の遣うところですが、失敗により体が震える程緊張している時に、こうすれば何でもない事だ、と教える方法は、職親技術の最高難度だと云いたい位に思われます。

時に体の不調を申し出ます。それは精神的疲れを意味している事が多いようです。医師の指導通りに休養を勧めますが、総体的に無口になり指導の至難さを感じます。

通リハの患者が多くなると「イジメ」に合っているとの事もある。理由は朝の挨拶をしても返事がない。ものを云ってくれない。被害妄想かもしれないと思える事もあります。

最後に通リハ患者に夢があります。それは年に一度の社内旅行です。何よりも強烈に印象に残るらしく、未だに思い出話に花を咲かせ、次は何処に行きたいナー、など話題はつきないようです。

要するに自分の職場が楽しく、している仕事に興味を持ってくれるように、そんな環境づくりに模索する毎日が続いています。



兵庫県精神保健職親会会員名簿

(H11. 1. 1現在)

番号	協力事業者名	事業主	所在地	管轄保健所
1	(医法) 仁明会 仁明会病院 赤い羽根療園	柳 澤 正 博	西宮市甲山町53-20	西 宮
2	(社福) 慈仁会 特別養護老人ホーム 山口苑	石 津 元 康	西宮市山口町下山口1203-1	西 宮
3	(医法) 内海慈仁会 有馬病院	内 海 都 一	西宮市山口町下山口1637-5	西 宮
4	(社福) 甲山福祉センター特別養護老人ホーム 甲寿園	八 田 優 希	西宮市甲山町53	西 宮
5	(社福) 照明会 特別養護老人ホーム あそか苑	河 原 俊 亨	伊丹市中野西1-18	伊 丹
6	タニオカたばこ店	谷 岡 久美子	宝塚市逆瀬川1-11-1	宝 塚
7	(株)島家	大 島 登美子	宝塚市栄町2-2-2	宝 塚
8	(株)吉田屋	吉 田 孝 文	宝塚市逆瀬川2-6-4	宝 塚
9	(株)オーディナリー	内 藤 正 晴	川西市見野2-33-1	川 西
10	(社福) 枚方療育園	山 西 悦 郎	三田市東本庄1188	三 田
11	明石酒販協同組合	金 井 良 介	明石市東仲之町4-12	明 石
12	(有)タツマ商事	藤 田 ヒサエ	加古川市平岡町新在家902-15	加 古 川
13	(社福) 鶴林寺 特別養護老人ホーム 鶴林園	西 井 シゲノ	加古川市志方町細江所1078-1	加 古 川
14	うを市東店	上 田 博	加古川市平岡町新在家2-280-2	加 古 川
15	植田園芸	植 田 真一郎	加古郡稲美町印南163-6	加 古 川
16	森本鉄工(株)	森 本 稔	加古川市野口町坂元565	加 古 川
17	高嶋園芸	高 嶋 秀 忠	三木市別所町正法寺	三 木
18	北川精密製作所	北 川 富 啓	加西市北条町北条4-2	加 西
19	岡加工所	岡 輝 彦	加西市畑町482	加 西
20	(株)ビバリーヒルズ	松 尾 雅 行	小野市檜山町531	社
21	伊勢製菓	伊 勢 ステノ	相生市那波本町2-6	赤 穂
22	(有)米口グリーンナーセリー	米 口 守	赤穂市木津334	赤 穂
23	茶谷製作所	茶 谷 豊	赤穂市坂越1639	赤 穂
24	稲津縫製	稲 津 春 美	神崎郡市川町鶴居24-7	福 崎
25	ウシオ精工(株)	谷 口 守 男	神崎郡福崎町南田原696	福 崎
26	市川育雛農場	岡 本 雅 秀	神崎郡福崎町大貫861	福 崎
27	ひまわりフーズ(株)	鳥 居 嘉 夫	神崎郡市川町甘地153-3	福 崎
28	琴塚建設(有)	琴 塚 木代松	飾磨郡家島町真浦643	福 崎
29	福井電気(株)	福 井 真 澄	飾磨郡夢前町勘野385-2	福 崎
30	(株)灘萬三日月工場	船 曳 貞 行	佐用郡三日月町春哉326	佐 用
31	(株)佐用精機製作所	天 野 隆 裕	佐用郡佐用町円応寺222	佐 用
32	(有)岡寄精機	岡 寄 國 男	城崎郡竹野町須谷1052-2	豊 岡
33	西村商店	西 村 稜威雄	豊岡市弥栄町1-40	豊 岡
34	有田自転車商会	有 田 実	城崎郡香住町香住32-1	豊 岡
35	(社福) 竹野町社会福祉協議会	麻 山 悌 男	城崎郡竹野町竹野2944-1	豊 岡
36	(有)北但給食センター	吹 田 靖 彦	出石郡出石町町分82-1	豊 岡
37	吉田箱工業	吉 田 金太郎	城崎郡日高町伊府69	豊 岡
38	グランドカバープランツ栽培	石 田 義 雄	出石郡但東町佐田747-1	豊 岡
39	泉屋クリーニング	川 尾 忠 一	出石郡出石町材木51	豊 岡
40	岡縫製浜坂工場	岡 和 男	美方町浜坂町細田290-21	浜 坂
41	(株)ルーセント	藤 岡 哲 雄	朝来郡和田山町岡212-1	和 田 山
42	但馬魚市場(株)南但営業所	枚 田 達 広	養父郡養父町上野1000	和 田 山
43	伸和青果食品(株)	細 見 勝	朝来郡和田山町市御堂98-1	和 田 山
44	(株)足立土木	足 立 一 男	氷上郡青垣町小倉558-1	柏 原
45	久下クリーニング店	久 下 諒	氷上郡山南町谷川2237	柏 原

番号	協力事業者名	事業主	所在地	管轄保健所
46	シャクナゲ農園	松尾 誠	多紀郡西紀町栗柄28	篠山
47	茶房マロン	田中 秀夫	多紀郡篠山町北新町39-18	篠山
48	一ちゃんラーメン	井口 政明	姫路市京口104	姫路市中央
49	(株)北村工務店	北村 喜八郎	姫路市神子岡前1-1-15	姫路市中央
50	(株)金村商店	上川 雄吾	尼崎市尾浜町3-2-28	尼崎北
51	(社福) 阪神協同福祉会 特別養護老人ホーム 園田苑	岩下 維亮	尼崎市小中島1-1-18	尼崎市園田
52	ともしびショップ	東口 かつ子	尼崎市杭瀬北新町4-9-12	尼崎東
53	(株)マナ	松山 道夫	神戸市東灘区岡本1-4-5	神戸市東灘
54	神戸市精神障害者家族連合会	西浦 三郎	神戸市中央区橘通4-1-28	神戸市中央
55	コンパル	平石 公子	神戸市中央区楠町3-10-12	神戸市中央
56	アメニティホーム夢野	満保 善夫	神戸市兵庫区夢野町4-3-13	神戸市兵庫
57	(医法) 尚生会 湊川病院	細見 毅	神戸市兵庫区湊川町3-13-20	神戸市兵庫
58	(有)平中铁工所	上久保 精二	神戸市長田区浪松町3-2-27	神戸市長田
59	(株)神戸消費者クラブ	前迫 志郎	神戸市北区有野台6-20 B12棟401	神戸市北
60	(社福) ヨハネ会 ヨハネ寮	岡 清数	神戸市須磨区奥山畑町2	神戸市須磨
61	(有)岩岡パークライジング	水沢 一章	神戸市西区岩岡町岩岡2214	神戸市西
62	イシイリネン(株)	石井 建三	神戸市西区玉津町新方109	神戸市西

職親会へのおさそい

本会は、精神障害者の社会復帰および社会参加を援助するとともに、正しい精神保健福祉に関する知識の普及を図るために、会員相互の情報交換、研修などを通じて資質の向上に努め、かつ会員相互の親睦をはかることを目的としています。

会 費 年額 3,000円

賛助会費 年額 1口 1,000円

振込先：さくら銀行神戸駅前支店 普通 313-6918374

名義人 兵庫県精神保健職親会 代表 森 本 稔

入会については事務局までお問い合わせ下さい。

事務局 兵庫県立精神保健福祉センター

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2-1-29

(TEL) 078-511-6581 (FAX) 078-511-6585

研修会のお知らせ

平成10年度社会復帰事業関係者及び職親合同研修会

実施日 平成11年3月12日(金)

講演 やどかりの里理事長 谷 中 輝 雄 氏

※詳細は2月初旬に別紙案内させていただきます。

兵庫県精神保健職親会

事務局：

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-29

県立精神保健福祉センター内

Tel : (078) 511-6581

Fax: (078) 511-6585